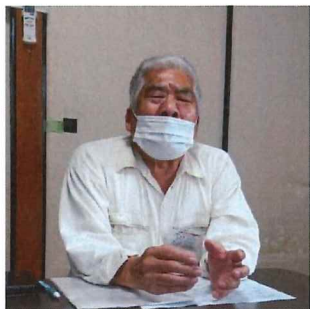


吉田重男さん(建設アスベスト原告団共同代表)とトーク

建設アスベスト救済法成立 全面解決へ 宮本さん、これからもがんばって！



吉田 原告団共同代表をしています。アスベストで兄もなくなっています。一陣の提訴から13年、最高裁は、建設アスベスト被害について国と建材メーカーの賠償責任を認める判決を出しました。そして、全被害者を救済するための建設石綿被害救済法が議員立法で成立しました。

宮本徹さんや福島さんは、裁判をたたかうなか、いつも集会に顔を出してくれた。宮本さんは、自分たち被害者の要望に、当然だと、いつもこたえて国会でも取り組んでくれ、信頼できます。

宮本徹 闘病しながらたたかう原告の方々の姿に、一刻も早い解決を求めてきました。成立した法律では、国は申請にもとづき賠償金を払いますが、建材メーカーはその枠組みに入っていない。これからも裁判を経ないと賠償されない課題が残っています。

インボイス 中止を求める

宮本徹は、零細な非課税事業者を苦しめるインボイスを導入する法案に反対の論陣を先頭ではってきました。



(建設アクション(東京土建など)集会で連帯あいさつ)

23年10月開始予定のインボイス(適格請求書)制度は、売り手が買い手に、消費税率と額を伝えるもので、仕入れ税額控除に必要とされます。免税事業者はインボイスの発行ができず大きな税負担が生じます。

コロナ禍、事業者への支援拡充を

コロナ禍で仕事と収入を失い、自己破産した方もいます。多くの方の相談にのりながら、政府の支援の不十分さをただしてきました。

「自粛には補償を」の立場で、東京土建、首都圏建設アクションのみなさんと月次支援金などの改善を求めて、取り組んでいます。中小企業庁への要請の集まりにも参加。

若手育成 魅力を感じる賃金の保障を

建設現場に適正なルールを確立するために公契約法の制定を求めています。下請けいじめをやめさせる、設計労務単価の引き上げなどに取り組んでいます。

北多摩民報
2021年
10月号外

発行:小松恭子 東村山市美住町1-2-5
☎ 042-391-4139
日本共産党北多摩北部地区委員会は、
宮本徹議員の活動を紹介しました。

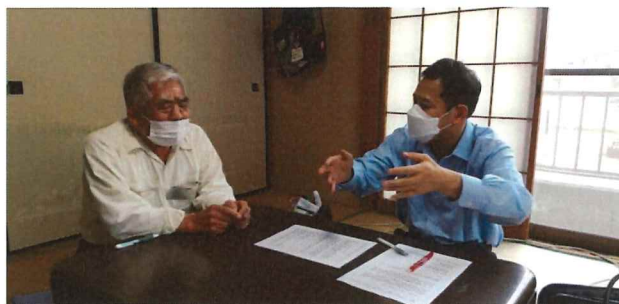
吉田 法律の審議の前に、宮本さんが「一番言いたいことは何ですか」と電話をしてきました。国会に傍聴にいったのですが、宮本さんが、「建材メーカーはなぜ原告にまだ謝らないのか。国からも建材メーカーに働きかけるべき」と質問してくれ、本当にうれしかった。

宮本 私は厚生労働委員会の野党筆頭理事である長妻昭(立憲民主党)さんとも相談し、与党案の不十分な点の改善を求めました。野党側は、建材メーカーの補償基金への参加、判決で対象外とされた屋外作業員などの救済に道をひらく規定を法案に盛り込むことを与党側に強く求めました。

吉田 宮本さんが、野党議員と相談して、与党側に働きかけてくれたから、法案に、建材メーカーの賠償のあり方について国が検討する附則が入った。建材メーカーに共同責任を果たさせる上で必要なシェアの調査を経産省に求めてくれるなど、感謝しています。

宮本 全面解決には、建材メーカーも補償基金制度に加わる必要があります。一刻も早い全面解決へ、みなさんとがんばります。

吉田 これからも解体工など多くの発症者がでると思います。建材メーカー業界全体に被害者全員の賠償責任を負ってもらう枠組みが必要です。そのためにも、厚労省や経産省を動かすために宮本徹さんには頑張ってほしい。仲間も期待しています。



建設国保、予算確保に全力



建設職人の命綱の建設国保の予算を確保するために、毎年、財務省、厚労省に強く要請しています。

全建総連(東京土建など)の集会でも連帯あいさつをしました。

宮本徹衆議院議員を紹介します

モットーは「困っている人や おかしい事をほっとかない」



プロフィール

1972年1月22日兵庫県三木市生まれ 東京大学教育学部卒業。
衆議院議員 2期。日本共産党厚生労働部会長
趣味は相撲観戦、映画鑑賞。柔道初段 家族は妻と娘ふたり。パパのつくるギョウザは娘たちが大好き！

人生観に影響を与えたもの

ブルーハーツの歌と、本多勝一、灰谷健次郎、宮沢賢治の本

中学生の時、核廃絶のサイクリング

母がつくった「ノーモア・ヒロシマ」のゼッケンをつけて、三木市から広島まで、自転車であピール行動。いま、核兵器禁止条約を批准する政府実現をめざす原点です。



自民党本部へ抗議マラソン、 卒論は「教育無償化」

東大教養学部学生自治会委員長の時、佐川急便をめぐる汚職事件への学生たちの抗議の声を届けるため、“飛脚”姿で自民党本部までマラソン。テレビでも報道され話題に。

国立大学の学費値上げに苦しむ学生の姿を見て、卒論テーマは「教育無償化」。このテーマはライフワークになりました。

若者と子どもたちが希望をもてる社会にしたいと、日本共産党で働く道を選びました。

中学校給食実現など、草の根の活動も

幅広い共闘にとりくみ、2005年には武蔵野市で民主党と共産党が与党の自治体が誕生。

こどもの城・青山劇場の存続運動や、「パパママほくの脱原発ウオーク」、保育園増設運動など、草の根の市民運動にもとりくんできました。

国政に挑戦。3度目で初当選

2014年比例区当選。2017年以降、小選挙区東京20区で挑戦しています。

コロナ禍で、命と暮らしを守る対策をリード

14本の法案を国会に提出。野党で力を合わせ、病床確保、検査拡充、医療・介護・暮らし・事業者への支援にとりくんできました。

いち早く「自粛には補償を」と求め、持続化給付金や休業支援金の対象拡大、雇用調整助成金特例の拡充を実現しました。

昨年来、エアロゾル感染（空気感染）対策の強化を提案。抗体カクテル療法の早期治療体制確保にもとりくんでいます。



「桜を見る会」追及は、宮本徹さんから

公的行事を時の安倍首相が私物化した桜疑惑は、一昨年の「会」開催直後の宮本質問から始まりました。国政上の大問題になりました。

「税金はくらしの応援一番に！」

給付型奨学金や授業料減免の拡充などを実現しました。非正規労働者の待遇改善の法案を提出。減らない年金制度も提案。

消費税減税、インボイス制度導入阻止にもとりくんでいます。

多摩全生園の医師確保、東久留米などの介護報酬の地域区分の引き上げなども実現。

都市農業の支援、横田基地へのオスプレイ配備問題、公立保育園の廃止問題など、地域のみなさんの声を一つ一つ国会でとりあげています。

私も応援します。宮本徹さんに期待します！！



尾芦富雄さん
東京土建清瀬東久留米支部



渡辺睦さん
東京土建元東村山支部主任書記



渡辺真雄さん
東京土建村山大和支部前執行委員長



三輪剛さん
型枠大工